



ご挨拶

国際ロータリー第2600地区
2019-2020年度

ガバナー **古川 静男**

国際ロータリー第2600地区2019年-2020年度のガバナーとしてご挨拶申し上げます。

2019年1月に開催された国際協議会において、次年度RI会長マーク・ダニエル・マローニー会長は、次年度RIテーマを『ロータリーは世界をつなぐ』と発表しました。そして「クラブはロータリーの心臓部であり、ロータリーのあらゆることはクラブに起こる」とし「草の根レベルでクラブをサポート・強化し、奉仕を大切にする会員制組織としてのロータリーの文化を守り、成長のために地域別の新たなアプローチを試みる」と話されました。また「ポリオが撲滅されれば、ロータリーが大きく認知され、多くの機会が訪れる。世界でよいことをするグローバルな組織としてロータリーが世界を先導する立場になれる可能性がある」と語っています。

私は、国際ロータリーの役員としてRIの方針をクラブ及びロータリアンに伝えるとともに、その方針に基づき地区方針を定めて、世界120万人のロータリアンと意識を共通にしながら第2600地区のかじ取りをしていきます。

マローニー会長のテーマ『ロータリーは世界をつなぐ』は、ロータリーを通じて様々なつながりを新しく生み出していく必要があることを強調したものだと考えます。

ロータリーには変えてはならないロータリーの哲学的な部分と時代と共に変えていかなければならない柔軟性の部分があります。皆さんの家庭でも企業でも時代と共に成長していきます。変化しないことは後退することを意味します。これはロータリーの世界でも全く同じです。

RIでは、今までの戦略計画を変更して今後5年間の新たな戦略計画を発表しました。これは活動

を大きく方向転換したものではなく、変えてはならないロータリーの哲学を時代に合った活動に変えていくための方法論の変更です。新たな戦略計画は、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という非常に抽象的な言葉で表されていますので、では具体的に何をするのかと質問が出そうです。RIではこの戦略計画を具体的に実行していくために、2019年—2020年の年次目標を「人びとが手を取り合うのを促す」「行動する」に決めました。これには9つの具体的な項目が明記されていますので、その項目を実行すべく第2600地区としても活動方針を定めて実行していくこととなります。

私は第2600地区の標語を『ロータリーの魅力を広めよう』としました。そして活動計画として「研修を通じてロータリーを知る」「人脈を広げて自分の人生を豊かにする」「奉仕活動の実施」「ロータリー・ファミリーの拡大」の4つを決めました。

ロータリーに入会した人は、まだロータリアンにはなっていません。ロータリアンになるためには、ロータリーの歴史や基本的理念を学び、現在のロータリーの活動を知り、そして入会したクラブの歴史や活動などを知らなければなりません。まずロータリーを知ることによりロータリアンとしての一步を踏み出すのです。そこがロータリーは単なる親睦団体やボランティア団体ではないと言われる所以です。

私は、ガバナーノミニの時代から第2600地区の様々な行事に参加して多くのロータリアンの方々と知り合うことが出来ました。また苦楽を共にする同期のガバナー仲間とも深い親交を結ぶことが出来ました。ロータリーのつながりは素晴らしいものがあります。皆さんにロータリーの魅力を大いに語っていきます。ロータリーのバッジを通じて素晴らしい仲間と知り合い、人間関係を築いていきましょう。きっと自分の人生が充実したものとなります。

限りある人生の一ページを共に歩いていきましょう。

1年間よろしくお祈いします。